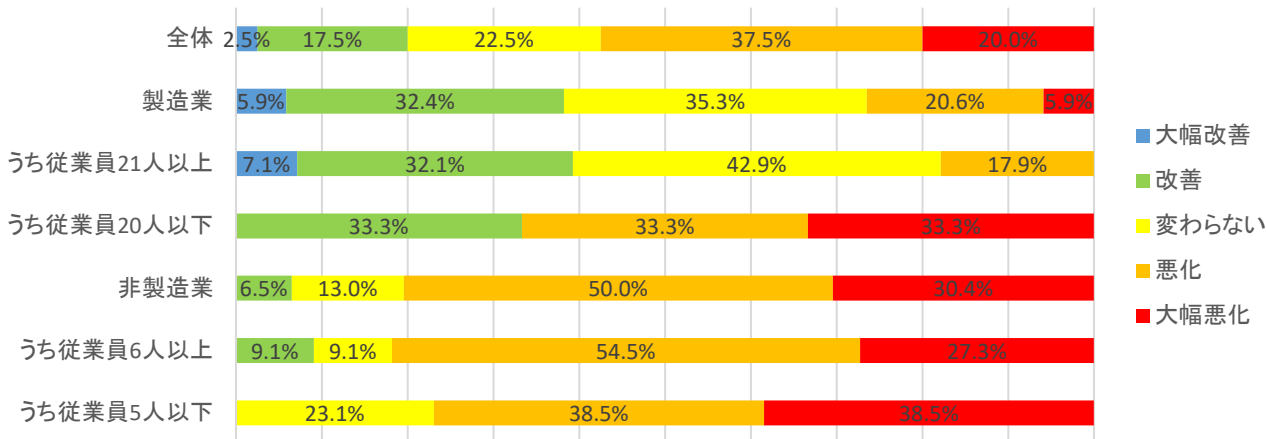


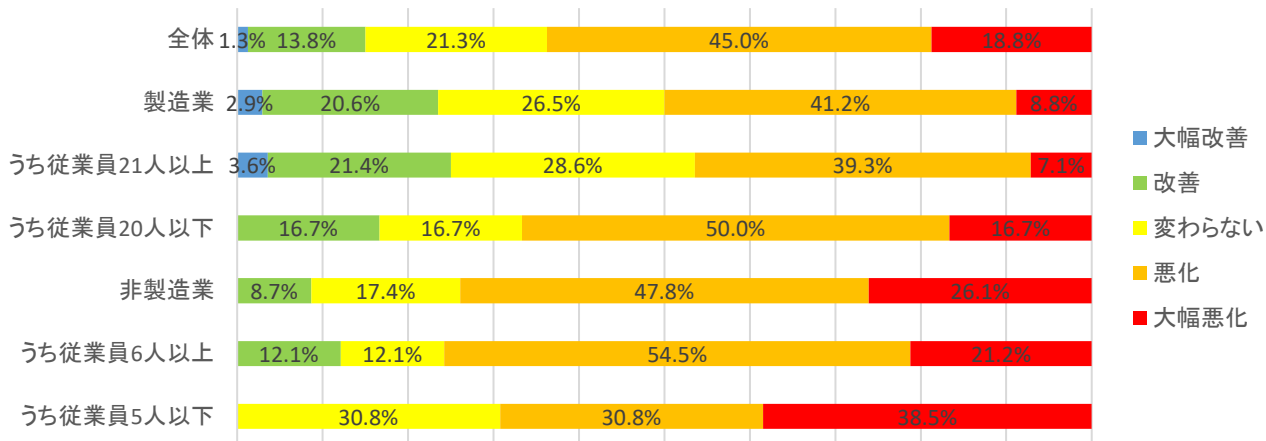
令和4年春の「緊急・出前相談」結果（商工労働観光部）

調査期間：R4.3.28~4.11
 調査企業等：81（製造34, 非製造業47）

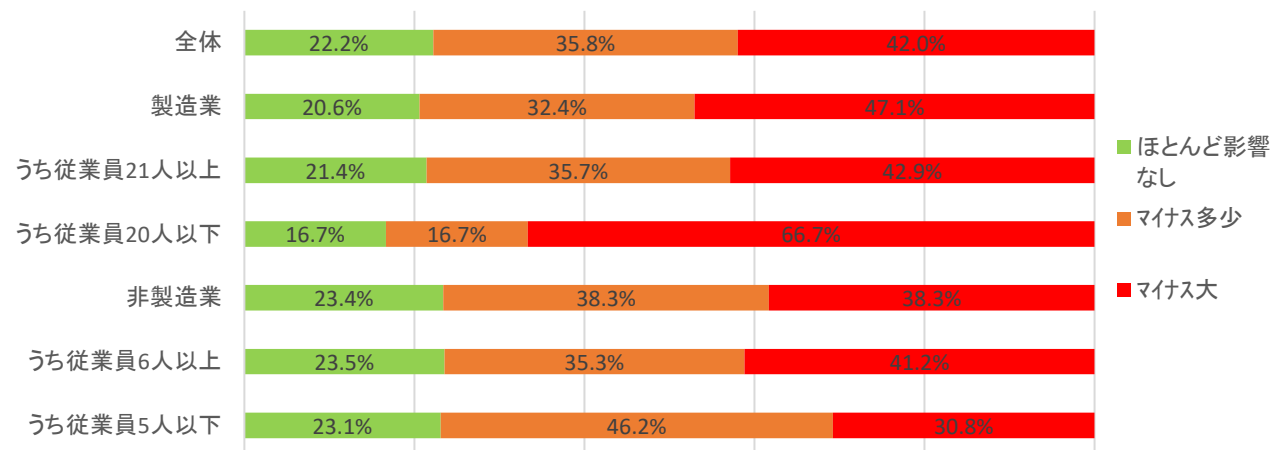
1. 現在の景況感(売上)



2. 現在の景況感(採算)



3. 経済変動要因(燃料・原材料高等)



■令和4年春「緊急・出前相談」結果（まとめ）

全体

- 燃料費高騰や原材料の価格上昇・調達困難の影響が幅広い業種に現れている。
- 燃料費や輸送費、原材料費のコストに占める割合が高い業種ほど影響が大きい傾向（製造業、運輸業、卸・小売業、飲食業、宿泊業等）。
- 全体として、新型コロナの影響と重なり、県内企業の経営状況はさらなる悪化傾向。

製造業

- 大半の企業が何らかの燃料費・原材料価格上昇の影響を受けており、多くで採算は悪化傾向となっている。
- 一部の輸入原材料でコンテナ不足、流通量不足等により調達遅延・困難な状況となっており、売上を圧迫しているケースも見られる。
- 燃料費・原材料費上昇の影響を「一定程度の価格転嫁」、システム更新やグリーンエネルギーの自社発電などによる「D X ・ G X 化」で一定程度軽減している例もある。

運輸業

- 新型コロナ前との比較で、タクシー、バスは大幅減、トラックは新型コロナ前まで売上が戻らずだが、若干の回復が見られるとの声。
- 売上が伸び悩む中での燃料費コストの上昇が、ダブルパンチとなっている。

卸・小売業

- 新型コロナによる外出減等から売上が伸び悩む中、「電気代や輸送費上昇が経営に影響している」、「今後の商品価格の上昇が消費減退につながるのでは」との声。
- 一方、ECでの売上確保やコスト削減努力で採算を改善している例もある。

飲食業

- 新型コロナで利用者減の影響が大きく、「原材料費や電気代等の経費、移動販売のガソリン代などが負担となっている」との声。
- 一部に「今後値上げを検討せざるを得ない」との声も。

宿泊業

- 新型コロナによる利用客減の影響が大きく、「燃油やガスの値上げの影響を受けている」、「輸入食材の調達が困難」との声。

旅行・観光業

- 新型コロナで売上が伸び悩む中、観光業で「燃料費高騰の影響が大きい」との声。
- 旅行業は、一部で本来業務以外の業務に取り組んでいる例もある。

イベント業

- 新型コロナによるイベント減の影響が大きい。
- 一部に「請負契約後の各種値上がりは価格に反映できず苦しい」との声。

その他

- 燃料・原材料価格上昇の影響は、労働集約型の業種で比較的小さく、燃料・原材料を多く使う業種ほど大きい。

【施策に対する声】

<製造業>

- 原材料高や燃油高への対策・支援があれば助かる。
- 原材料高やコスト高に対応できる補助。
- 設備投資に関する助成金。

<非製造業>

- 資金繰りが厳しく、何らかの対応をしてもらいたい。
- 設備投資の補助金を設けて欲しい。
- コロナ対策の融資制度・補助金は助かった。